

秋田市山林看守人等の方々に、 ナラ枯れ現地研修会を実施しました

7月15日、小国町沼沢のナラ枯れ防除試験地において、平成23年度秋田市山林保護管理研修視察で来訪した25名の秋田市山林看守人及び秋田市農林部農地森林整備課職員の方々に、ナラ枯れの現地研修会を実施しました。

試験地では、小国町におけるナラ枯れ被害の推移や平成17年度から実施している殺菌剤注入等の対策について、小国町役場産業振興課と置賜森林管理署職員が概要を説明し、その後、林内の防除作業を施した木やカシノナガキクイムシに穿孔されて被害を受けた木を見ていただきながら、ナラ枯れやその対策への理解を深めていただきました。

また、ナラ枯れによって壊滅的な被害を受けた森林の視察を行いました。あまりの被害の惨状に参加された方々は驚愕した様子でした。

今回来訪された方々は、今後地元での被害拡大が懸念されるナラ枯れに高い関心を持っており、多くの質問が出されて、非常に有意義な研修会になったものと思われま

す。今後とも、ナラ枯れ被害の拡大を抑えるため、多くの方に現状と対策を理解していただけるよう取り組んでいきたいと考えています。



沼沢ナラ枯れ防除試験地にて



当署職員の説明



被害木を囲む参加者



ナラ枯れ被害地を眺める参加者